

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※ 専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	岩手県立宮古高等看護学院
設置者名	岩手県

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	看護学科	夜・通信	65 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyoku/iryoku/kanan/miyako/1003312.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	岩手県立宮古高等看護学院
設置者名	岩手県

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	教育運営委員会
役割	学院長の諮問に応じ、次に掲げる事項を審議する。 (1) 教育方針、教育計画、教育内容に関する事 (2) 学院の規程等に関する事 (3) 学生の入学、転学、退学、休学、復学及び賞罰に関する事 (4) 単位及び卒業認定に関する事 (5) 学校評価に関する事 (6) その他学院の運営、管理に関し重要と認める事項

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
岩手県立病院 医師	2023. 4. 1～ 2025. 3. 31	
岩手県立病院 看護師	2023. 4. 1～ 2025. 3. 31	
岩手県立病院 看護師	2023. 4. 1～ 2025. 3. 31	
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岩手県立宮古高等看護学院
設置者名	岩手県

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>全ての授業科目について、専任教員・担当講師が授業計画(シラバス)を作成し、事前に学生に配布している。シラバスには、科目名・講義時間数・講師名・目標・授業の内容及び方法、履修上の留意点、成績評価について、講義で使用する教科書・参考書を掲載している。専任教員以外の講師には、毎年講義を依頼する際に同様の項目について作成を依頼し、講義開始前に学生へ配布している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページ</p> <p>https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/kikan/miyako/1003312.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の学修成果の評価は、講義では主に終講試験、レポートや課題への取組を評価している。基礎看護学の(看護行為に共通する看護技術、日常生活活動の場を整える看護技術、診療・治療に伴う共通技術)科目では、終講試験のほかに技術試験を行い、技術の習熟度を評価している。</p> <p>実習評価では、実習評価の手引きを実習指導要綱に記載し、全ての領域の各実習科目について評価方法や評価尺度、採点方法を統一している。実習開始前の客観テストや演習による事前評価、毎日の実習の過程での観察や口頭試問による形成的評価、実習終了後の実習評価表を用いての総括的評価を行う。教員だけでなく、実習指導者による評価を行い、単位認定の基準に沿って認定している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>指標の算出方法と計算方法</p> <p>当該学年の各授業科目の評価得点及び実習評価の評価得点(100点満点又は100点満点に換算した得点)の合計を算出し、その合計を科目数で除して得られる数値を得点平均値とし、学科内の成績位置とする。</p> <p>学生A(履修科目数10)の特定平均値</p> $= (\text{科目①の得点} + \text{科目②の得点} + \dots (\text{中略}) \dots + \text{科目⑩の得点}) \div 10$	

教育課程の評価		
成績	点数	合否
秀	90～100点	合格
優	80～89点	合格
良	70～79点	合格
可	60～69点	合格
不可	60点未満	不合格

客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryu/kikan/miyako/1022185.html
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
<p>【卒業認定の方針】 教育目標に到達するために計画された教育課程を、以下の条件を満たして修了した学生に卒業を認定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学則に定められた所定の期間内に在学して、全ての教育課程を修めていること。 2. 各科目の学習過程と成果の評価において、学則と細則に定められた基準を満たし、全ての単位を修得していること。 3. 卒業判定会議において卒業を認定された者 	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページ https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryu/kikan/miyako/1022185.html

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	岩手県立宮古高等看護学院
設置者名	岩手県

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼 のみ	102 単位 3,030 時間	2040 時間 79 単位	時間 単位	990 時間 23 単位	時間 単位	時間 単位
			102 単位 / 3,030 時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
96 人		83 人	人	8 人	114 人	122 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）学院便覧 教育課程 参照〈表2〉〈表3〉
成績評価の基準・方法
（概要） 学則第19条（単位の修得及び修了認定） 学則第21条（試験の成績の評価） 細則第10条（試験） 細則第11条（実習評価）
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定の基準： 学則第4条に定める規定する修業年限（3年）以上在学し、出席すべき日数の3分の2以上出席している者、及び第7条の教育課程で定める所定の単位を第19条により修得した者。 進級認定の基準： 教育課程に定められている学年ごとに履修する科目を全て履修し、「可」以上の成績で単位を修得していること。
学修支援等
（概要） 学院の主要課題の実行計画に基づき、入学時から各学年の担任・副担任が中心となり、学習計画の立案、学習方法の指導、模擬試験、試験対策ゼミ、面談を計画的に実施している。また、試験の結果が思わしくない学生には、学習習慣の確立に向けた個別指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29人 (100%)	0人 (0.0%)	29人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 看護師として病院に就職			
(就職指導内容) 1年次から担任・副担任が中心となり、進路希望状況の把握と情報提供を個別に（3回／年）実施している。また、インターンシップ開催の情報を周知し学生の参加を促している。2年生を対象とした就職ガイダンス、1・2年生を対象とした病院参加による就職説明会を開催し（各1回／年）、就職先決定のための支援を行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師国家試験受験後看護師資格取得 国家試験合格率100%（令和6年2月実施第113回看護師国家試験）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
87人	1人	1.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学年担任による定期的な面談（3回／年）、スクールカウンセラーによるカウンセリング（6回／年）		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	5,650 円	129,600 円	100,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
岩手県看護職員修学資金、日本学生支援機構奨学金 (第1種、第2種、給付)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページアドレス： https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/kikan/miyako/index.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学院評価に関する規程に基づき実施している。 実施方法：学院評価は教育運営委員会がその役割 (学院評価の企画立案、分析及び進行管理) を行う。学院評価の内容は学院運営評価と授業評価とする。 体制：全教職員が自己評価を行い、教員会議で協議し評価を決定する。 全教職員の評価を参考に、委員会が最終評価を行う。委員の構成は以下のとおり。評価結果は会議で共有し、次年度の業務方針作成に活用する。授業評価の結果は講義を担当する教員が考察し、教育内容・方法を検討する。 評価項目は以下の8項目。 ①学校運営 ②教育課程・教育活動 ③入学卒業対策 ④学生生活の支援 ⑤管理運営財政 ⑥施設整備 ⑦教職員の育成 ⑧広報・地域活動		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
岩手県立病院 医師	2023.4.1～2025.3.31	公営企業 (医療局)
岩手県立病院 看護師	2023.4.1～2025.3.31	公営企業 (医療局)
岩手県立病院 看護師	2023.4.1～2025.3.31	公営企業 (医療局)
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/kikan/miyako/1003306.html		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/kikan/miyako/index.html

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	岩手県立宮古高等看護学院
設置者名	岩手県

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		13人	11人	13人
内 訳	第Ⅰ区分	6人	7人	
	第Ⅱ区分	6人	4人	
	第Ⅲ区分	1人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				13人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	1人	人	人
計	1人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	2人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	2人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。